

セキュアアクセスエラー"; ログイン拒否のトラブルシューティングご使用の環境は、管理者が定義したアクセス基準を満たしていません。

&quot;

## 内容

---

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

---

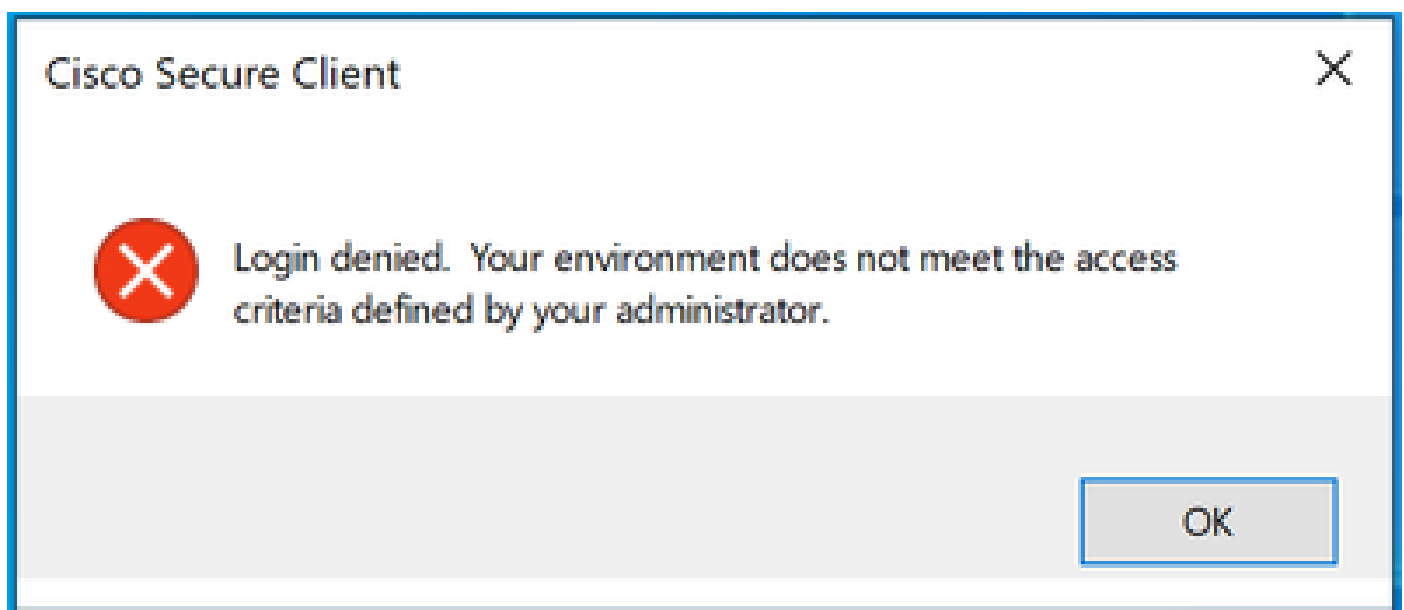
## はじめに

このドキュメントでは、エラー「Login denied.お客様の環境は、管理者が定義したアクセス基準を満たしていません。

## 問題

ユーザがRA-VPN ( リモートアクセスVPN ) を使用してセキュアアクセスヘッドエンドに接続しようとする、Cisco Secure Client通知ポップアップにエラーが表示されます。

ログインが拒否されました。環境が、管理者が定義したアクセス基準を満たしていません



このエラーの原因は、エンドクライアントPCがSecure Accessダッシュボードで定義されているVPNポスチャ条件を満たしていないためです。

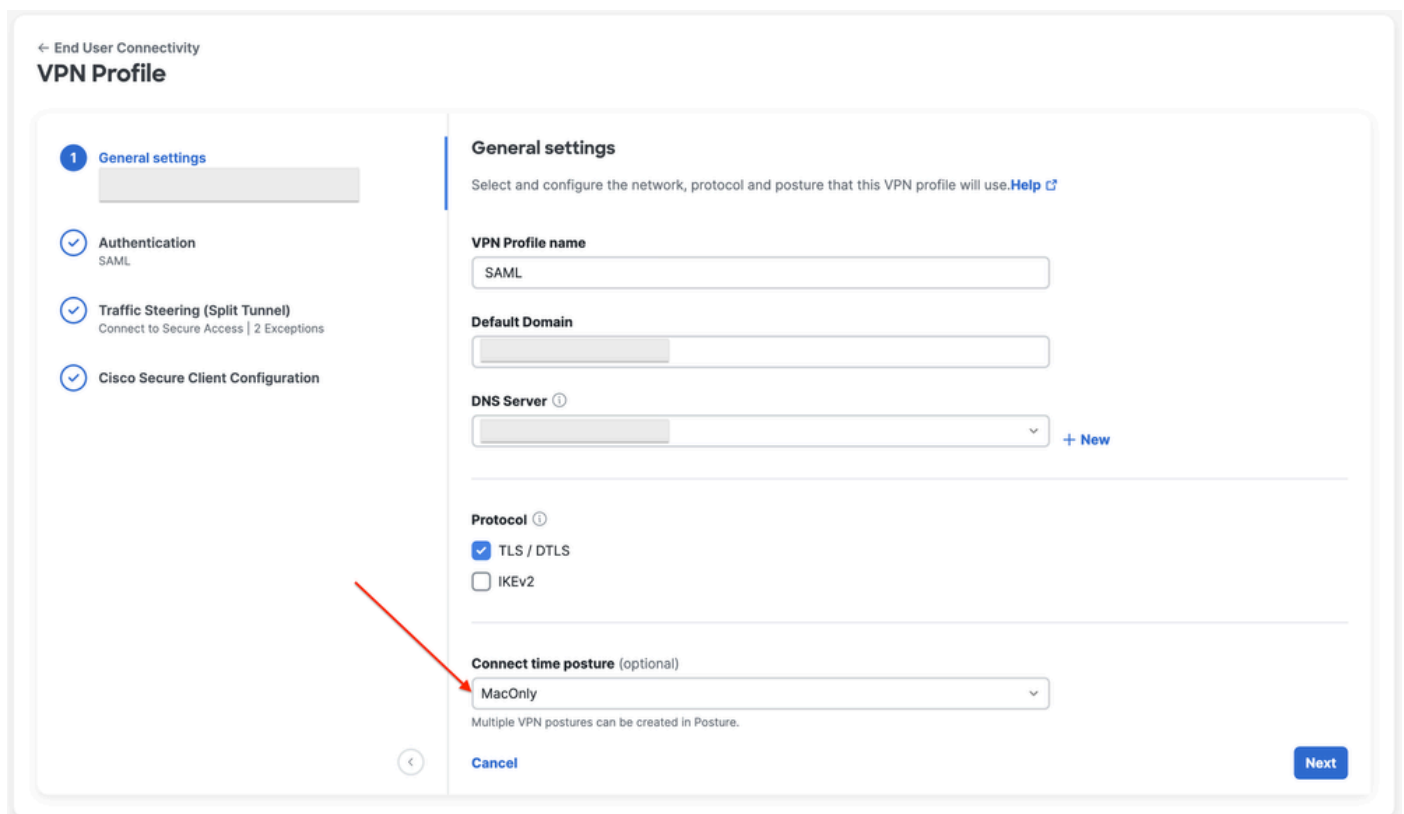
過去に同じPCからSecure Accessヘッドエンドに接続できた場合、ポスチャ条件が時間の経過とともに変化した可能性があります。

たとえば、ウイルス対策が無効になっていたり、特定のプロセスがシステムで実行されなくなったりします。

## 解決方法

この接続エラーを修正するには、PCがセキュアアクセスダッシュボードのVPNプロファイルで定義されている接続時間ポスチャプロファイルを満たしていることを確認してください。

1. VPNプロファイル設定でVPNポスチャプロファイル名を見つけます。



The screenshot shows the 'VPN Profile' configuration page. On the left, there is a sidebar with navigation options: '1 General settings', 'Authentication SAML', 'Traffic Steering (Split Tunnel) Connect to Secure Access | 2 Exceptions', and 'Cisco Secure Client Configuration'. The main content area is titled 'General settings' and includes the following fields:

- VPN Profile name:** SAML
- Default Domain:** [Redacted]
- DNS Server:** [Redacted] + New
- Protocol:**  TLS / DTLS,  IKEv2
- Connect time posture (optional):** MacOnly (indicated by a red arrow)

At the bottom, there are 'Cancel' and 'Next' buttons.

VPNプロファイルの設定

2. VPNポスチャプロファイルの設定を確認します。

## Edit VPN Posture Profile

Specify requirements for endpoint devices to connect to the network using VPN. Each requirement is optional. Requirements can be configured in any order. Endpoints must meet all configured requirements. [Help](#)

Name \*

- Operating System**  
Mac OS X allowed
- Endpoint security agent  
Not required
- Windows registry entries  
Not required
- Firewall  
Not required
- Disk encryption  
Not required
- File  
Not required
- Processes  
Not required
- Certificate  
Not required

### Operating System

Require specific operating systems. [Help](#)

Operating system

Mac OS X

Mac OS X  
Any version (default)

[Cancel](#) [Save and Exit](#) [Next](#) [Restore to default](#)

ポスチャプロファイルの設定

3.接続元のPCがすべての条件に準拠していることを確認します。設定された条件のいずれかを満たしていないと、接続障害が発生します。  
この例では、Windows PCから接続が試行されると、VPNポスチャプロファイルによってMAC OSが適用されます。

クライアント側から完全なポスチャレポートを生成するには、DARTバンドルを収集し、WaDiagnose.txtというファイルを探します。

このエラーの調査に関してさらに支援を得るには、TACケースを開き、収集したDARTバンドルを添付してください。

## 関連情報

- [セキュアアクセスユーザガイド](#)
- [Cisco Secure ClientからのDARTバンドルの収集方法](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。